

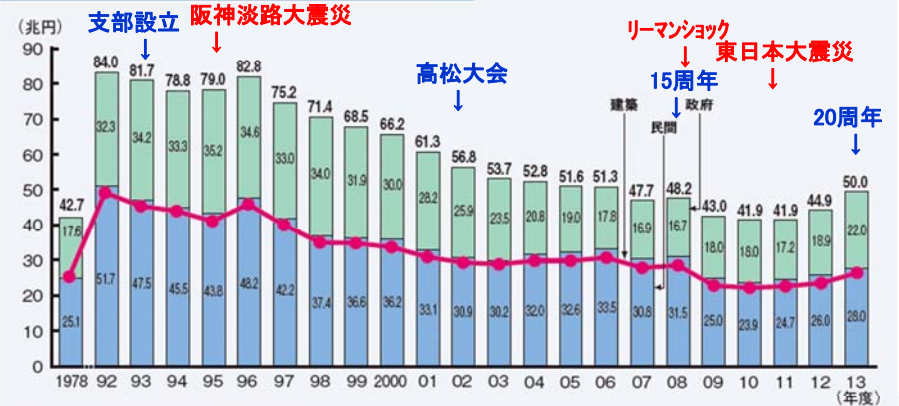
一般社団法人日本応用地質学会  
中国四国支部設立20周年記念シンポジウム  
地域の自然・人・産業・文化を護る応用地質学

趣旨説明

実行委員長 長谷川修一(香川大学)

1. 建設投資の動向

建設投資の推移



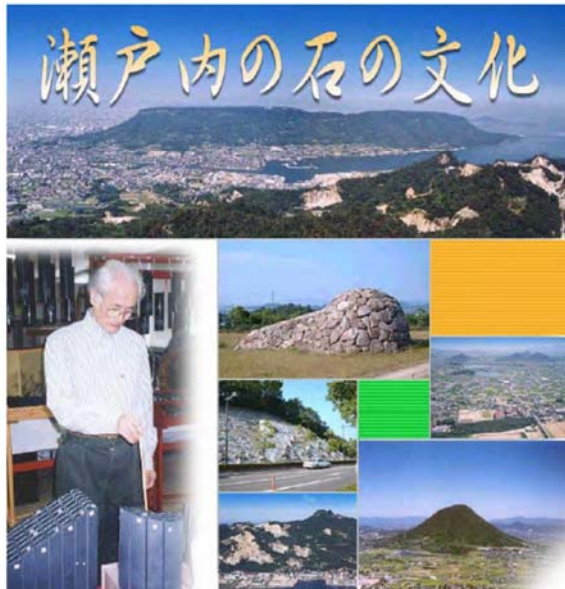
(注) 1. 11、12年度は見込み額、13年度は見直し額  
2. 政府建設投資のうち、東日本大震災の復旧・復興等に係る額は、11年度1.5兆円、12年度4.2兆円と見込まれている。これらを除いた建設投資総額は、11年度40.4兆円(前年度比3.6%減)、12年度40.7兆円(同0.6%増)。(36ページ参照)  
資料出所：国土交通省「建設投資見通し」(2013年6月発表)

建設投資は90年代後半以降、減少傾向が続いた。近年では、リーマンショック後の景気悪化により急減し、2010年度にはピーク時(92年度 84兆円)の50%にまで減少した。11年度に震災復旧需要で増加に転じ、13年度も引き続き増加する見通しとなっている。  
(建設業ハンドブック2013より)

偉大な石の  
芸術に触れる

- 花崗岩  
イサム・ノグチ先生
- サヌカイト  
前田仁先生

- 真(地質学)
  - 善(応用地質学)
  - 美(?????)
- ⇒科学・技術・芸術  
の融合  
⇒文化



平成14年度 研究発表会 見学会資料

日本応用地質学会中国四国支部設立15周年記念行事  
記念シンポジウム「中国四国地方の自然遺産・文化遺産と応用地質学」  
平成20年10月3日 岡山県国際交流センター

講演概要集  
文化の継承と発展に貢献する応用地質学

巻頭言

基調講演：地質遺産と応用地質  
岩松 暉先生(地質情報整備・活用機構会長)

講演1：山陰地域の自然遺産・文化遺産と応用地質学  
横田 修一郎先生(島根大学理工学部)

講演2：世界遺産・厳島の土砂災害と庭園砂防  
海堀 正博先生(広島大学大学院)

講演3：瀬戸内海の石と文化  
長谷川 修一先生(香川大学工学部)

講演4：四国まるごとジオパークーその魅力とあり方ー  
横山 俊治先生(高知大学理学部)

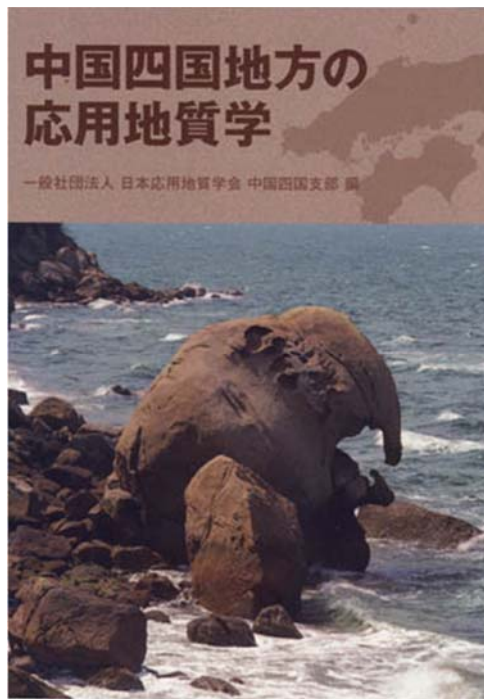
平成20年度 現地検討会資料

『応用地質学的ジオパーク豊島』

目次

- 第1章 中国四国地方の自然と社会
- 第2章 中国四国地方の活断層と応用地質
- 第3章 岩石の風化・変質作用と応用地質学
- 第4章 中国四国地域の土砂災害の特徴と軽減策
- 第5章 地すべりと地質
- 第6章 応用地質学的知識の現場施工への適用と貢献
- 第7章 地下水問題
- 第8章 環境地質への取り組み
- 第9章 中国四国支部の成果

資料 (社)日本応用地質学会  
中国四国支部における会員の研究発表一覧



# 日本は有史以来の最大の危機

## 1. 巨大自然災害

- 首都直下地震・房総沖M8級巨大地震(元禄)
- 南海トラフ巨大地震(宝永)
- 富士山噴火など(宝永・天明)

## 2. 社会環境が激変

- 干潟・塩田⇒都市化・沿岸部の工業地帯
- 自給自足⇒流通経済⇒グローバル化
- 自然・災害が身近⇒正常化バイアス・平和ボケ

1つの事変・自然災害が破局へ

## 巨大自然災害とグローバリズムから地域の自然・人・産業・文化を護るには「敵を知り、己を知る」

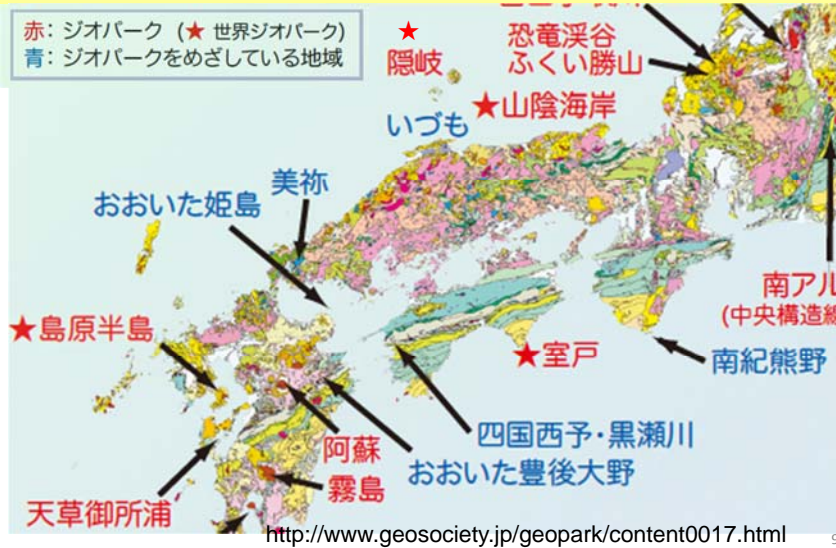
1. 自然災害を知る・グローバリズムを知る
2. 地域の強みと弱みを知る  
⇒大地の成り立ち(地史)  
⇒ジオパークの視点
3. 視野を広げる  
⇒グローバルな視点から地域を見る  
⇒海外と連携して地宝を護る  
⇒持続可能な社会への変革に貢献する  
⇒レジリエントな社会にもなる

応用地質学は  
何が出来るのか？

## ジオパークのコンセプト(隠岐)



# 中国四国支部は 日本海・瀬戸内海・太平洋をカバー



## 日本応用地質学会中国四国支部設立20周年記念シンポジウム 地域の自然・人・産業・文化を護る応用地質学

- ・趣旨説明(長谷川修一)
- ・来賓挨拶(小豆島町塩田幸雄町長)
- ①地質災害軽減のための新たな追い風—鬼に金棒—(千木良雅弘)
- ②「中国四国地方の応用地質学」にみる地域の地質技術力  
(横田修一郎)
- ③隠岐ジオパーク—地すべりととの共生—(浜崎晃)
- ④豪雨による土砂災害に備える住民活動—地域と行政が協働した防災マップの作成—(中井真司・渡邊真悟)
- ⑤活断層との共生(金折裕司)
- ⑥深部地下利用と地下水(田中和広)
- ⑦地下水の恵み—河川流量から見た地下水環境と地域地盤—  
(栢木智明)
- ⑧ ジオ鉄—鉄道施設からジオを読む—  
(加藤弘徳・藤田勝代・横山俊治)
- ⑨総括—中国四国支部活動に期待をこめて—(横山俊治)



**ジオサイト探訪**

世界で探訪するジオサイト探訪の魅力をあつめた冊子を  
お申し込みください。

5.sat.12:00--6.sun.9:00--  
ジオサイト探訪—①—

**シンポジウム**

島石の本質的な魅力と、新たな専門的見地から  
地質学を捉え直す。

6.sun.13:00—会場: 福地体育館(福武ハウス)

基調講演

【コーディネーター】



長谷川 修一

【パネリスト】



興 好幸



藤田 勝代



津村 宏臣



横山 俊治  
日本応用地質学会  
中国四国支部支部長



塩田 幸雄  
小豆島町長



中村 博司  
前大阪城天守閣館長

【コメント】



中村 博司  
前大阪城天守閣館長

島には地球の中心(マントル)と直結する奇跡の岩石が今も存在しています。  
【主催】小豆島町・土庄町・香川大学・同志社大学【共催】日本応用地質学会中国四国支部・瀬戸内国際芸術祭実行委員会

## 人類も危機の時代

1. グローバリズム ≠ 国際化  
⇒ 地域の産業・生活・文化の破壊
2. 市場原理・競争原理・自由貿易  
⇒ 生活・環境の破壊、資源の枯渇
3. マネー資本主義  
⇒ 金融恐慌、国家破産も賭けの対象
4. 戦争もビジネス  
⇒ 中東、極東など
5. 1つの自然災害が破局の引き金にも